Press Release
プレスリリース

特定非営利活動法人
きずなメール・プロジェクト

平成 30 年９月１日

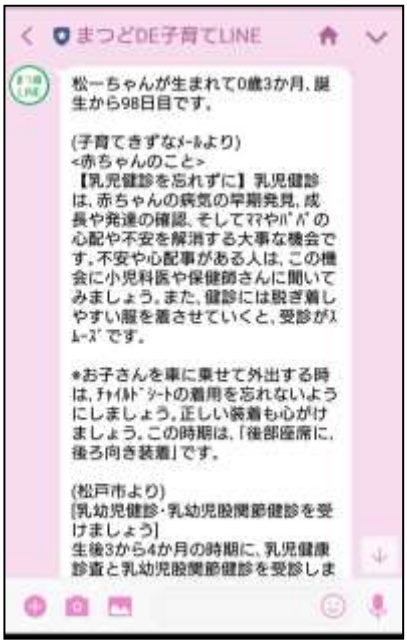
報道関係者各位

特定非営利活動法人きずなメール・プロジェクト

千葉県松戸市にて「まつど DE 子育て LINE」の配信を開始しました。

コンテンツ（原稿）による子育て支援、乳幼児虐待予防に取り組む NPO の活動

「きずなメール」コンテンツ（原稿）による孤育て予防を展開している NPO 法人きずなメール・プロジェクト（東京都杉並区）は９月１日より、千葉県松戸市にて「まつど DE 子育て LINE」の配信を開始しました。



「きずなメール」は、妊産婦が出産予定日や赤ちゃんの誕生日を登録すると、妊娠週数や生後日数に応じて、毎日～月２回程度の頻度で、胎児の成長の様子や育児アドバイスを 300 字前後のテキストコンテンツをメールや LINE で届けるサービス。同 NPO ではこれを孤育て（孤独な子育て）の予防に役立てるため、主に自治体の子育て支援事業として展開しています。

松戸市では、「きずなメール」コンテンツとともに、松戸市の子育て支援情報を LINE で読む事ができます。

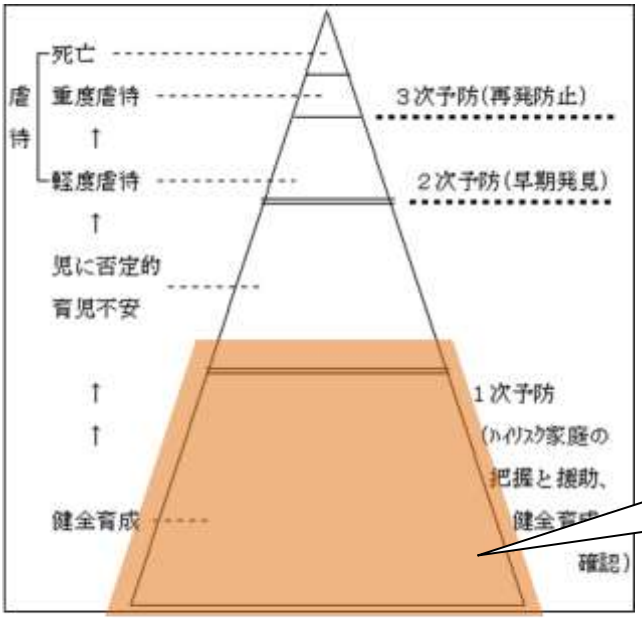
なお、登録周知のための広報 PR 活動は、地域全体で子育てを支える取り組みとして、同市の医師会等と連携して協力する体制を構築中です。

【松戸市　本郷谷健次市長のコメント】

松戸市では、妊娠期から切れ目ない継続した子育て支援の充実に取り組んでいるところでございますが、このたび、子育てに関する情報を市民に分かりやすく提供し、母親の孤立防止や育児不安、産後うつや児童虐待を予防する目的で、「まつどＤＥ子育てＬＩＮＥ（まつ育ＬＩＮＥ）」を開始しました。

より多くの方々にご利用いただくため、情報伝達手段として子育て世代に利用の多い無料通信アプリであるＬＩＮＥを使用しています。この「まつ育ＬＩＮＥ」が、安心して妊娠、出産、子育てを迎える皆さんの一助となれば幸いです。

同 NPO では、自治体や医療機関と連携しながら、きずなメールを「日本中、だれでも無料で気軽に読める」形で展開していくほか、コンテンツ（原稿）による社会課題へのアプローチとして、乳幼児虐待の一次予防で活用する可能性をさらに研究していきます。



厚労省「子ども虐待対応の手引き ／第11章　関係機関との連携の実際 図11－4」

※「孤育て」とは？

夫や家族からの育児の協力が得られず、近くに助けてもらえる人もいない中で子育てをしている状態のこと。
核家族化や男性の長時間労働などが背景にある。
産後の女性の 8-10 人に 1 人がかかる可能性がある産後うつや、0 歳児に最も多い虐待死の間接要因ともいわれている。

LINE で「きずなメール」のコンテンツを配信することで、
乳幼児虐待一次予防の可能性を探っていく。

【プレスリリース・取材に関する　お問い合わせ先】

NPO 法人きずなメール・プロジェクト　　担当：増田ふみこ

電話 03-6317-5575　　inquiry@kizuna-mail.jp

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5 丁目 1-5-301